

丹波市議会議員 大西ひろ美 活動報告

発行 2022年冬号 <スマイルタイム 笑顔の時が増えることを願って>



スマイルTIME

大西ひろ美後援会 〒669-3611 丹波市氷上町柿柴411番地 TEL/FAX 82-3546

新年おめでとうございます

みなさまにおかれましてはご健勝のこととお喜び申しあげます。昨年も皆様にお支え頂き活動できましたこと、心よりお礼申しあげます。まだまだコロナ禍の生活ではあります、これまで同様感染症対策を取りながらもつながりを大切に活動してまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

「スマイルTIME2021年夏号」でごみ減量化の特集を配布させていただき、大変貴重なご意見をいただくことができました。長文でしたが最後まで読んでいただき、ごみ減量化に挑戦しようと思ってくださり、その結果燃やすごみ量が3分の1に減ったという嬉しいお知らせを頂きました。お知らせ頂き有り難く、また読んだままではなく実行に移していくだけしたこと私としてもとても喜びを感じております。市議会議員は行政に提言をしますが、それと共に市民のみなさまの行動変容も期待し政策を打ち出しております。今後とも私も含めやった方がいいだろうなあと感じられたことは行動へとつながりますよう願っております。

燃やすごみ袋半額化は、12月議会で否決しました。私自身も現段階においては反対であり、ごみ減量化がしっかりと実践されることが重要と考えております。市民のお声としてこれ以上どうやって?というお声も聞きます。販売元がごみを出さない販売方法が必要では、ともお聞きしました。課題は多いですが、今できる範囲での実践が重要です。これ以上できないと思われる方は今の状態を維持していただけるようお願いいたします。もう少し減らせるのでは?と思われる方はそのお取組をお願いいたします。

市民総がかりで考え実践してまいりましょう。丹波市の取組はSDGsにもつながる大切な行動です。今後ともみなさまのご指導ご鞭撻を、よろしくお願い申しあげます。



シトラスリボン
コロナ差別を
許さない!

大西ひろ美の一般質問

◇ひとり親家庭での養育費確保を支援するために!

大西 養育費の未払いは子どもの貧困へとつながりやすくなる。R3年3月第116回定例会でひとり親家庭での養育費未払いを防ぐため、離婚時に公正証書※1を作成することを該当者に勧め、その補助をすべきであり、それと共に1年分の保証料※2も補助対象にすべきではないかと提案しました。当局からの回答は、今年度(R3年度)に実態調査をし、十分検討していくことだったが、今どのような状況か。

市長 R3年3月第116回定例会での大西議員の質問にお答えしておりましたように、児童扶養手当受給資格者を対象に養育費に関するアンケートを実施いたしました。結果、丹波市においても、養育費の取決めをしているのは48%、かつ取決め通り受け取っている人の割合は60%でした。従いまして、子どもの健やかな成長に不可欠な経済的基盤となる養育費の取決めを促進し、継続した養育費の支払いの履行確保をはかるためには養育費確保支援の必要

があると考え、実施に向けた協議検討を進めております。

ひとこと*****

こどもの成長する権利を保護者が、そしてすべてのおとなが支えてまいりましょう。

※1 公正証書；契約の成立や一定の事実等、公証人が書証として作成し内容を証明する書類

※2 保証料；保証会社に払う費用

◇妊娠期の「親への自己肯定感※3」を

高める学習の場を!

大西 ワンオペ育児※4 やアウェイ育児※5、孤立等による、うつや児童虐待に繋がらないためにも、妊娠期の親への「自己肯定感を高める学習」の場を確保すべきではないか。こどもがのびのびと育つためには、その子どもの存在自体をありのままに認め、自分が大切にされることによって自己肯定感は高まっていきます。そのような子育てが必要と考えられますが、そのためにはまず親である「おとな自身に自己肯定感がある」ということが必要不可欠です。自分をありのままに受け入れ自分を大切にしていること。



オレンジ (児童虐待
防止) とパープル
(女性への暴力防
止) のダブルリボン

そしてその自分と同じように人を大切にすることが求められます。自分自身の自己肯定感の存在によって、子どもの自己肯定感も育まれていきます。妊娠期において自己肯定感を高める学習の場を導入すべきと考えるがいかがか。

市長 議員ご指摘の通り、保護者の自己肯定感は子育てに影響し、自己肯定感の高い保護者に育てられると、自己肯定感が高くなると言われています。現在、集団での教室は実施しておりませんが、今後、**妊婦やそのパートナー、家族が自分自身を大切に思い、自己肯定感を高めることの必要性に気づくきっかけとなるよう、母子健康手帳交付時等においてリーフレットの配布啓発を検討してまいります。**

ひとこと *****
市の答弁の通り、妊婦だけでなくその周りのすべての人にとって、「自己肯定感」があることが、家庭・地域の喜びや力となり、幸せにつながってまいります。

※3 **自己肯定感**；自分をありのままに認め自分を大切にすること、そして同じように人を大切にすること。

※4 ワンオペ育児；母親が育児や家事を一人で担うこと

※5 アウェイ育児；自分の育った市区町村以外で子育てすること

◇ 同性パートナーシップ制度※6への取組を！

大西 R2年9月の第111回定例会において「同性パートナーシップ制度」への必要性を提案し、今年度丹波市人権施策基本方針の改定にあたり審議会で議論を進めるご回答がありましたが、現在どのような進捗状況か。

市長 市では、「第3次丹波市人権施策基本方針」の策定を進めており、この基本方針の人権課題の1つとして新たに「性的マイノリティ※7の人権」を追加し、丹波市人権行政推進審議会においてご意見を頂いているところです。

「性的マイノリティ」の人権に関する施策方向性としては、性的マイノリティの人権に関する教育・啓発の推進とともに、性的マイノリティに寄り添った支援体制づくりとして「同性パートナーシップ制度」の実施に向けて、協議・検討をしております。

ひとこと *****
当事者にとっては、1日も早く制度が整うことが、丹波市の安心な生活に一步近づきます。みんなで正しく知り、理解を深めてまいりましょう。

※6 同性パートナーシップ制度；自治体が同性カップルを婚姻と同等に公認する制度

※7 性的マイノリティ；性的少数者

◇ 生理の貧困※8に取組むために

大西 「#生理の貧困」の調査で、女の子や女性の5人に1人が生理用品を買えず代用品で済ましてる等の状況が

見えてきました。問題は生理用品に留まらない深刻な生活状況があるかもしれません。学校・公共施設での女子トイレに生理用品の設置、住民センター、市民プラザ、社協等での生理用品の配布、相談窓口の案内チラシの配布等すすめることによって、今後の支援体制も考えていく継続的な支援が必要と考えるがいかがか。

市長 緊急的な対応としたしましては、預託物品等による物資援助として対応できないか、市社会福祉協議会と協議を進めております。また継続的な支援につきましては、他市町の状況等を見ながら、今後検討してまいります。

ひとこと *****

あるブラジルの家族、孫の生理用品はおじいちゃんがいつも準備してくれる。ある韓国の夫婦、生理前から夫が生理用品等準備し、生理中は家事すべてを担っている。こんな家族もあります。男女共に生理についての知識が共有されているようです。日本ではまず生理用品が、恥ずかしいと思わず、言葉に発したり買える事からでしょうか。生理休暇も普通にされますように。生理の話題がオープンに語れる社会に。

※8 生理の貧困；生理に対しての正しい情報の不足や、生理用品が手に入りにくい方への支援が必要とされている問題

◇ ヤングケアラー※9への取組を！

大西 こどもの学習・進路にまで影響を与えるヤングケアラー問題の周知啓発と、該当者への選択肢の提供が必要ではないか。

市長 市としましても重要な問題であると認識しております。家庭児童相談室において、教育部局と連携し、認識を深めるための啓発を始めたところでございます。各機関と連携を取り、さらに認識を深め市民の皆様への周知も行って参りたいと考えております。

ひとこと *****

家庭内の事で見えにくく、本人も自覚なくがんばっておられる場合があります。周りからの支援がその子の将来を救うことにつながります。

※9 ヤングケアラー；本来おとなが担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている若者（小学生～）



LGBTs（性的マイノリティ）の旗

常任委員会等の所属

- ・民生産建常任委員会委員
- ・予算決算常任委員会委員
- ・氷上多可衛生事務組合議会運営委員長



SDGs：持続可能な開発目標の略称

大西ひろ美後援会事務所

TEL/FAX 0795-82-3546

face book 等「大西 ひろ美事務所」

で講話をしています！

丹波議論ホームページfacebookでは、定期的に議論を実施しています。インターネット中継も行なっています。議論より「なんばんく」は、議論議論です。ぜひ、ご覧ください。

